

# はぐくみ

## 「学校改善のためのアンケート調査の結果報告」について

北海道七飯養護学校おしま学園分校教頭 小野寺利江

昨年12月に実施しました「学校改善のためのアンケート調査」結果について報告します。この調査の目的は次のとおりです。

保護者や施設職員等の意見を把握するとともに、校内教職員の自己点検・自己評価を行うことにより、新年度に向けての学校運営・組織、教育課程の編成・実施等の改善・充実を図るために実施する。

今年度も次のとおり実施しました。

- 「保護者アンケート」は、保護者の皆様に学校から郵送し、返送または来校等の際に持参していただきました。
- 「施設職員アンケート」は、おしま学園職員の皆様に記入していただきました。
- 「地域アンケート」は、分校が所属している石別ふれあう会運営委員並びに学校運営協議会委員の皆様を対象に、アンケートに本校の教育活動の紹介文書も合わせてお配りしました。また、今年度は回答しやすく、石別住民センターに回収箱を設置及び Web 回答とさせていただきます。

### 1 アンケートについて

#### (1) 回答数

ア 教職員	有効回答数	30 / 配付数 30 (有効回答率 100%)
イ 保護者	有効回答数	19 / 配付数 25 (有効回答率 76%)
ウ 施設職員	有効回答数	17 / 配付数 17 (有効回答率 100%)
エ 地域	有効回答数	16 / 配付数 30 (有効回答率 53%)

#### (2) 評価項目について

ア 教職員については、項目内容を整理した上で新たに「個人情報の適切な管理」や「危機意識をもち、再発防止」等を加え、全37項目で実施しました。

イ 保護者・施設職員の皆様については、「ICT教育の推進」や「学校運営協議会(コミュニティ・スクール)の取組」の2項目を加え全17項目で実施しました。

ウ 地域の皆様については、「学校教育充実のためのアンケート」とし、本校の概要や今年度地域を活用した教育活動について全5項目で実施しました。

### 2 アンケートの結果について

[資料を御覧ください。](#)

### 3 改善の方向性について

アンケートの結果を考察し、改善の方向性について4点にまとめました。

- (1) 本校の教育目標や学校経営方針等について、教職員の共通理解と保護者や関係施設職員、地域に対して分かりやすく説明したり、共有したりするために、説明する機会や情報発信の工夫が必要であることが分かりました。
- (2) 小中高の系統性や連続性を踏まえた教育課程の改善、充実に取り組む。特に、児童生徒の将来を見据えた進路指導が求められており、全校で見直しや充実を図っていく必要であることが分かりました。

(3) 地域とともにある学校づくりの推進について、令和7年度の分掌業務への移行を見据え、持続可能で計画的な地域資源を活用した学習の充実に向けて、コミュニティ・スクール関連業務について関連部署(学部・分掌)と連携する必要があることが分かりました。

(4) 安全安心な学校づくりに向けて、安全に配慮し安心できる教育環境を整え、危険回避や予防的な対応のみならず、適切な初期対応を重視する組織的(チーム)な体制を充実させる必要があることが分かりました。

最後になりましたが、保護者・施設職員・地域の皆様、アンケートの回答・返送等、御協力いただき心より感謝申し上げますとともに、令和6年度に向けて、この学校評価の結果を学校経営に生かし、具体的な改善策を講じることでより良い学校づくりを推進してまいりますので、引き続き御理解と御協力のほど、よろしくお願いいたします。

## お知らせ

### いじめの把握のためのアンケート調査報告について

毎年2回実施している全校児童生徒対象の「いじめの把握のためのアンケート調査」について御報告します。

<第1回目(6月)>「嫌な思いをしたことがある」0名、「友達が嫌な思いをしているのを見たり、聞いたりしたことがある」0名、いじめの認知件数0件でした。

<第2回目(11月)>「嫌な思いをしたことがある」1名、「友達が嫌な思いをしているのを見たり、聞いたりしたことがある」0名、いじめの態様としては、「冷やかしかからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる」でした。学校として、いじめの認知件数1件でした。

この調査結果を踏まえ、本校の学校いじめ基本方針に基づき、いじめられている児童生徒の苦痛を共感的に理解し、心配や不安を取り除くことや児童生徒と教職員の信頼関係づくりを大切に、学校生活等において些細な変化に気付いた場合は、教職員間で情報共有を図るなど、いじめの未然防止や早期発見に努めています。

いじめは、学校のみならず、家庭や関係施設等が相互に連携・協力を図り、社会全体でいじめの問題に対応する環境づくりが重要です。保護者の皆様におかれましては、気になることや心配なことがありましたら、学級担任や本校教職員に相談するようお願いいたします。

### 体罰等に関する調査の結果報告について

昨年12月に保護者並びに施設職員の皆様に御協力いただき実施しました「体罰等に関する調査」について、先日、渡島教育局より結果のお知らせがありました。本校においては、Web 回答を含む児童生徒、保護者用調査票を確認した結果、調査が必要な事案はなかったとのこと。年末年始のお忙しい中、回答の御協力をいただきありがとうございました。引き続き、体罰防止に関する校内研修等に取り組み防止に努めていきます。

## 学校現場での「心のケア」

新年から能登半島地震や羽田空港での飛行機事故など、胸が痛む出来事が続きました。ニュースを見る度に、日頃からの準備や訓練、危機管理の意識がどれだけ大切かを、改めて感じているところです。学校現場でも、災害や事件・事故が起きたとき、子どもたちを守るために何ができるか、知識と実践力、地域・関係機関との連携力など、色々な要素が求められることに気付かされました。

もし、いま大きな災害や事件・事故が起きたら、もちろん救命活動が最優先となりますが、学校現場での子どもたちの「心のケア」の意義は大きいと考えます。強い恐怖心や衝撃を受けた場合、不安や不眠などのストレス症状は誰にでも起こりうることで、時間の経過とともに和らぎます。しかし、場合によっては長期にわたり症状が続き生活に支障を来し、その後の成長や発達に大きな支障となることがあるとされています。

災害や事件・事故発生時に子どもに現れやすいストレス症状として、【体】食欲の異常(拒食・過食)、不眠、持続する嘔気・嘔吐・下痢・便秘・頭痛、頻尿、【心】退行現象(幼児返り)の現れ、落ち着きのなさ(多弁・多動)、イ

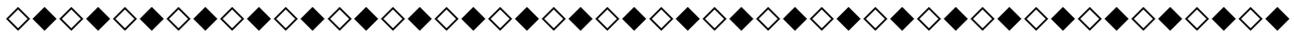
ライラ、ビクビク、攻撃的、乱暴、無表情などがあります。また、急性ストレス障害(ASD) (再体験症状、陰性気分、解離症状、回避症状、過覚醒症状などが3日～1ヶ月持続した場合)や PTSD(心的外傷後ストレス障害) (ASDなど強いストレス症状が1ヶ月以上持続した場合)を発症することが懸念されます。これらの症状は事故等発生から半年以上も経過してから発症する場合があります。

「心のケア」のポイントとして、落ち着きと安心感をもって学校生活を送れるよう**普段と変わらない接し方・環境**を心がける必要があります。特に、知的障害や発達障害のある子どもにとって、環境や日常パターンの変化は強いストレスや不安を感じるため、できるだけ**早期にもとの習慣・活動の再開を目指す**ことが望まれます。また、ストレスを受けたときに**症状が現れるのは普通**であり**症状は必ず和ら**いでいくことを伝える、**退行現象がみられた場合は無理に制止せず経過観察**する、不安や質問については**共感・傾聴**しつつも**根掘り葉掘り聞いたりあまりにも詳細に説明したり**、などが挙げられます。ASDやPTSD発症時には早期から専門機関への連携も必要となります。

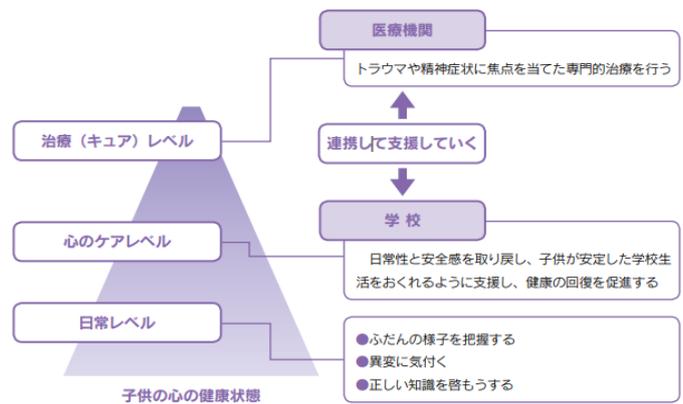
もちろん子どもの「心のケア」は災害や事件・事故発生時に限ったことではありません。日頃から子どもの心身の健康観察を行い、情報共有・共通理解のもと、子どもたちひとりひとりの状況とニーズをアセスメントし、(起きてはほしくないですが)災害や事件・事故発生時には適切な支援ができるよう学校として取り組んでいきたいと思ひます。

(文責:養護教諭 坂本莉菜)

(「学校における子供の心のケア-サインを見逃さないために-」平成 26 年 3 月文部科学省)



ケアとキュア ～ 学校と医療機関の役割



## 「高等部 現場実習報告」

高等部では、今年度も卒業後の移行を見据えて現場実習に取り組みました。実習先は就労継続支援B型事業所や生活介護事業所、入所施設で、期間は3日～10日間でした。宿泊を伴った実習に取り組んだ生徒も半数ほどいました。また、今年度については、計画や相談は進めていましたが、様々な事情から現場実習が実施できなかった生徒もおりました。



現場実習では、いつもと違う場所や日課で緊張や不安はあったと思いますが、周りの利用者さんと一緒に作業に取り組んだり、自分の好きな余暇グッズを持参し自分なりの休憩時間を過ごしたりしながら、実習先の日課に沿って取り組むことができ、大変立派でした。この経験や教えていただいたことを今後の学習に生かしていければと思います。

最後になりますが、現場実習を受け入れていただいた事業所、施設に感謝するとともに、寮職員や保護者の皆様には準備などで御協力いただきありがとうございました。

(文責:高等部進路支援担当 太田共世)





## 大谷選手からグローブが届きました



おしま学園分校にも、大谷選手からのグローブが届きました。  
右利き用が2つ、左利き用が1つです。このグローブを使ってみんなで  
野球に親しみ、健康な体作りに取り組んでいきたいと思ひます。

また、現在玄関にグローブ1つを飾っていますので、授業参観等でお越しの際は、ぜひ御覧ください。



(文責:運営部 小島 香織)

おめでとう会 (小)

### 3月の行事予定

月	日(曜日)	行事	月	日(曜日)	行事
3月	4日(月)	入学説明会 (小)		15日(金)	卒業証書授与式
	7日(木)	お別れ会 (高)		22日(金)	修了式・離任式
	8日(金)	卒業を祝う会 (中)		23日(土)	学年末始休業 (~4/7)
	12日(水)	おめでとう会 (小)			

※今後、行事が変更になることがあります。その場合は早めにお知らせします。